



市民まつり みこし

想い、重なる、一日。

7月12日、第53回こもろ市民まつり「みこし」が盛大に開催された。

今年はみこしが約50基、総勢2,500人の参加者が威勢よく街を巡ったほか、60,000人の人出が沿道を埋め尽くした。

まつりで特に盛り上がりを見せたのが、小諸駅前・相生町通りでの各連の練り歩きであらう。沿道には多くの観客と露店が集まり、まつりの熱に街全体が包まれる。

小諸の市民まつりは、人と人をつなぐ「地域の絆」の象徴であり、文化となっている。威勢の良い掛け声、きらびやかな装飾のみこし、沿道の声援と参加者の笑顔。そのすべてが、まつりの魅力を形作っており、「地域の絆」を感じることができる素敵な行事だ。今年のまつりも温かな思い出として、参加者の心の中に残り続けるだろう。

小諸の
みこし
祭り

